

確認事項（案）

内閣府総合政策推進室

1 会員選考

【コ・オプテーション方式と多様性】

- ① 会員選考はコ・オプテーション方式で行われていることから、欠員が生じた時に推薦される候補者は前任者と同じ専門分野になりがちだと考える。前任者とは異なる専門分野や新しい専門分野から会員を入れる必要性についてどのように考えているか。そのために何か工夫をしていることがあれば教えてほしい。
- ② 専門分野以外の点（例：性別、年齢、活動地域、産業界出身者の数等）についても多様性を確保することについて、どのように考えているか。

【投票制と多様性】

- ③ 会員候補一人一人の選考を投票により行うと、アカデミー全体の専門分野やそれ以外の多様性及びバランスが必ずしも確保されないこともあると思われるが、どのように考えているか。多様性及びバランスの確保のために何か工夫していることがあれば教えてほしい。

【他分野の候補者の評価】

- ④ 総会で、最終候補者の名簿について投票が行われる際に、自分とは専門分野が異なる（あるいは隣接する分野でもない）候補者については、評価が難しいと考える。自分とは専門分野が異なる候補者への投票に当たり、どのような視点での判断を会員には期待しているか。

（事務的な関心事項として）

- ・ 以上①～④に関し、会員候補者の推薦や投票に当たり、会員に対して周知していることがあれば教えてほしい。

2 業務

- ① 中期の計画（や毎年の年次計画）を作成していると承知しているが、一方で、アカデミーは長期的な視点で活動する必要があると考える。中期の計画（や年次計画）を作成するときの留意点をどのように考えているか。
※アメリカは中期計画、イギリスとドイツは中期計画と年次計画を作成
- ② 中期の計画（や年次計画）が計画した通りに進んでいるかどうかの確認は、どのような仕組みで行われているか。